

|          |   |  |          |      |          |      |       |
|----------|---|--|----------|------|----------|------|-------|
| 科目区分     | 専門分野  |  |          | 科目番号 | 0905     | 曜日時間 | 不定期   |
| 授業科目     | 成人看護学援助論Ⅳ   |  |          |      |          |      |       |
| 単位数      | 1 単位  | 時間   | 30 時間    | 開講時期 | 2年次前期    | 授業形態 | 講義・演習 |
| 担当教員     | 森岡 弓恵 ・ 松岡 美香 ・ 内村 優志   |  |          |      |          |      |       |
| 授業目的     | 性・生殖機能障害、運動機能障害、脳神経機能障害、感覚機能障害が成人期の対象にあたる影響を理解し、それらの機能障害をもつ成人の看護を学ぶ。  |  |          |      |          |      |       |
| 中核       | 生活行動に関わる機能を障害した対象への看護   |  |          |      |          |      |       |
| 授業目標     | <p>【性・生殖機能障害、運動機能障害、脳神経機能障害、感覚機能障害】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性・生殖機能、運動機能、脳神経機能、感覚機能の障害が理解できる。</li> <li>2. 性・生殖機能、運動機能、脳神経機能、感覚機能の障害が人間の生命・生活に与える影響が理解できる。</li> <li>3. 性・生殖機能、運動機能、脳神経機能、感覚機能が障害された対象のアセスメントが理解できる。</li> <li>4. 性・生殖機能、運動機能、脳神経機能、感覚機能の障害をもつ対象の看護が理解できる。</li> </ol> |  |          |      |          |      |       |
| 授業の内容と方法 | 授業内容  |  |          | 授業方法 | 時間       | 担当   | 備考    |
|          | 2   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性・生殖機能・性ホルモンの障害</li> <li>2. 性・生殖機能障害のある患者の看護<br/>(疾患の経過と看護・外来・病棟・診療介助における看護)</li> <li>3. 症状とその病態に対する看護<br/>臓器別疾患・機能的疾患患者の看護</li> <li>4. 手術・化学療法・放射線療法・ホルモン療法・体外受精を受ける患者の看護<br/>まとめ</li> </ol>  | 講義       | 4    | 森岡<br>弓恵 |      |       |
| 実務歴有     | 看護師・助産師：病院勤務 16年 看護教員：学校勤務 5年   |  |          |      |          |      |       |
| 講義への反映   | 性・生殖機能の障害をもつ対象への看護について助産師としての病院勤務の経験を活かし教授する。   |  |          |      |          |      |       |
| 授業の内容と方法 | 6   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動機能の障害<br/>運動機能と役割（姿勢機能、移動機能、作業機能）<br/>運動機能とその障害</li> <li>2. 運動機能の障害が生活に及ぼす影響<br/>運動機能障害がもたらす生命・生活の影響</li> <li>3. 症状アセスメントと看護<br/>(起座困難、体位交換困難、歩行困難、把持困難、<br/>網羅性困難、ADL困難、疼痛)</li> <li>4. 検査・治療時のアセスメントと看護<br/>(筋生検、骨髄造影、椎間板造影、膝関節鏡検査、膝関節<br/>液検査、ギプス固定、牽引法、ポジショニングへの援助)</li> <li>5. 疾患により運動機能に障害がある対象の看護<br/>(椎間板ヘルニア、骨折)</li> <li>6. 演習（包帯法、三角布）</li> </ol> | 講義<br>演習 | 12   | 松岡<br>美香 |      |       |

## 成人看護学援助論Ⅳ No.2

|          | 回 | 授業内容   | 授業方法     | 時間 | 担当       | 備考 |
|----------|---|--|----------|----|----------|----|
| 授業の内容と方法 | 7 | 1. 脳神経機能と日常生活<br>脳神経機能と役割(生命活動調節機能、運動調節機能)<br>運動機能とその障害<br>運動機能障害がもたらす生命・生活への影響<br><br>2. 脳神経機能障害をもち生活する人の看護<br>(意識障害、運動麻痺、神経障害、言語機能障害、失認・失行、排尿障害)<br><br>3. 検査で影響を受け生活する人の看護<br>(髄液検査、脳血管造影、脳波検査)<br><br>4. 治療で影響を受け生活する人の看護<br>(開頭術、穿頭術、血管バイパス術、血栓溶解療法、動脈瘤塞栓術、脳室ドレナージ、脳室-腹腔シャント術、低体温療法)<br><br>5. 脳梗塞で脳神経機能に影響を受け、生活する人の看護<br><br>6. 脊髄損傷で脳神経機能に影響を受け、生活する人の看護<br><br>7. 頭部外傷で脳神経機能に影響を受け脳死状態で、生活する人の看護<br><br>8. 感覚機能障害をもつ人の看護<br>1) 感覚機能と日常生活<br>2) 感覚機能障害をもち生活する人の看護<br>3) 検査・治療で影響を受け生活する人の看護<br>4) 疾患により感覚機能に影響を受け、生活する人の看護 | 講義<br>演習 | 14 | 内村<br>優志 |    |
| 終了後課題    |   |  |          |    |          |    |
| 評価計画方法   |   | 筆記試験、リフレクションノート、授業中の態度から総合的に評価する。  |          |    |          |    |
| テキスト参考図書 |   | 末岡 浩ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9] 女性生殖器【電子版】，医学書院<br>井手 隆文ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経【電子版】，医学書院<br>田中 栄ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器【電子版】，医学書院<br>渡辺 晋一ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[12] 皮膚【電子版】，医学書院<br>大鹿 哲郎ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼【電子版】，医学書院<br>小松 浩子ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉【電子版】，医学書院<br>渋谷 絹子ほか:系統看護学講座 専門分野 成人看護学[15] 歯・口腔【電子版】，医学書院   |          |    |          |    |
| 実務歴有     |   | 看護師  |          |    |          |    |
| 講義への反映   |   |  |          |    |          |    |
| 備考       |   | どのテキストが必要かその都度確認して臨むこと   |          |    |          |    |